

災害対応と地域振興を

結合する

防災イノベーション

鉄道防災 × 地域振興

第3回を迎える鉄道津波対策サミットでは、「災害対応と地域振興を結合する防災イノベーション」をサブテーマに掲げ、「鉄道防災」と地域振興を結合している事例を共有するとともに、和歌山での鉄道防災の取組を発信することで、鉄道乗車時の安全・安心の向上、ならびに地域振興につなげていきたいと考えています。

2020年 **11月4日** 水

| 時間 | 14:00～17:00

| 会場 | オンライン配信

参加無料 (要事前申し込み)

基調講演

三陸鉄道・震災学習列車の取組

三陸鉄道株式会社代表取締役社長
中村 一郎 氏

| 中村氏略歴 |

東京大学法学部卒業後、岩手県庁入庁。総務部予算調製課長、政策地域部長、復興局長を歴任。
2016年退職後、同年三陸鉄道株式会社代表取締役社長就任。



お申し込み方法

QRコードから申し込みフォームへ入力
または、メールで代表者氏名、所属、
メールアドレス、電話番号、参加予定者
数をお知らせください。

▼申し込みフォーム



お問い合わせ先

和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター
〒640-8510 和歌山市栄谷 930
☎ 073-457-8503
🏠 <https://www.wakayama-u.ac.jp/disaster/>

開催にあたって

和歌山は「稲むらの火」の故事にちなみ「世界津波の日（11月5日）」のゆかりの地であるとともに「津波防災」の発信地としてのプレゼンスを持っています。和歌山大学とJR西日本和歌山支社は、2013年から実践的津波避難訓練や高校など教育機関との連携、訓練の高度化、および地域振興に資する防災訓練プログラムの開発に共同で取り組んでいます。鉄道津波対策サミットの共催も2017年以降3回を数え、このような先駆的な取り組みを積み重ねてきた当地和歌山は、まさに「鉄道防災」の拠点でもあります。

和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センターでは、2020年4月に新設した「紀伊半島価値共創基幹（Kii-Plus）」のミッションのもと、“災害対応と地域振興を結合する防災イノベーション”を追求しています。災害対応と地域振興を別の視点で考えるのではなく統合的にとらえ、各種交通機関を基軸とした観光地での避難モデルや防災に資するスタディーツーリズムの取組を進めたいと考えています。

プログラム

I 開会行事（14:00～14:15）

- 開会あいさつ 国立大学法人和歌山大学長 伊東 千尋
西日本旅客鉄道株式会社執行役員・和歌山支社長 冨本 直樹氏
- 趣旨説明 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 災害科学・レジリエンス共創センター長 塚田 晃司

II 基調講演（14:15～15:00）

- 「三陸鉄道・震災学習列車の取組」 三陸鉄道株式会社代表取締役社長 中村 一郎氏

III 基調報告①②（15:05～15:45）

- ①「鉄道防災・津波対策の関する取組と考え方」 和歌山大学学長補佐
／紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus 准教授 西川 一弘
- ②「JR きのくに線における津波対策について」 西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社安全推進室

IV パネルディスカッション（15:55～16:50）

「新しい視点とアプローチで防災・減災に取り組む」

パネリスト

「津波避難を体験する団体列車ツアー」の取組
東日本旅客鉄道株式会社横浜支社総務部安全企画室 副課長 山本 知一氏

「地域観光チャレンジツアー・海と学ぶ防災旅」の取組
四国旅客鉄道株式会社四国国家連携部 遠藤 碩大氏
国立大学法人高知大学地域協働学部4回生 拜藤 紘希氏

「鉄道防災教育・地域学習列車『鉄學』」の取組
西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社安全推進室長 清水 敏生氏

コメンテーター

三陸鉄道株式会社代表取締役社長 中村 一郎氏

コーディネーター

和歌山大学学長補佐／紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus 准教授 西川 一弘

V 閉会行事（16:50～17:00）

- 閉会あいさつ 国立大学法人和歌山大学社会連携担当理事・副学長 山本 進三